

事業概要シート

担当部名	産業振興部	事業名 (子事業名)	見本市等出展事業補助金
担当課名	産業振興課	根拠法令・例 規・要綱等	中小企業基本法、厚木市補助金等交付規則
担当係名	産業振興係	事業開始年度	平成16年度
事業開始年度	平成16年度		厚木市見本市等出展事業補助金交付要綱

事業概要

目的	市内中小企業が見本市・展示会等（以下「見本市等」という）へ出展することを、マーケティング投資の一環として捉え、出展に対する費用の一部を補助することで、中小企業の販路拡大を推進し、市内における継続的な事業運営を図ることを目的とします。
対象	市内中小企業
事業詳細 (実施内容・ 実施手法等)	<p>当事業は、市内中小企業が見本市等に出展する際に必要な費用の一部を補助するものです。</p> <p>*見本市とは 企業が自らの新しい商品や製品、提供するサービスを展示したり、デモンストレーションしたりするために企画・実施される定期的な展示会のことで、見本市の出展経費は、参加企業にとって、マーケティング投資といえます。</p> <p>①補助対象者 市税を完納している。市内において1年以上継続して事業を営んでいるなど ②対象となる見本市 国・地方公共団体が主催、共催又は後援する見本市等 など ③補助対象経費 出展料・会場設営費・運搬費・資料作成費等 ④補助対象額 県内の見本市等：対象経費の1/2（15万円まで） 国外・神奈川県外の見本市等：対象経費の1/2（20万円まで）</p>
事業の効果	見本市等の出展者からは「新しいサービスや商品のアイデアを思いつづいた良い機会となった」等の声をいただいております。短期間に多数の来場者と商談したり、製品に関する意見交換を行ったりすることで、業界の動向や先進技術についての情報を得ることができるため、製品の開発・販売促進につながり、中小企業の経営安定に資することができます。
事業の 周知方法・内容	市ホームページ、厚木商工会議所との連携による企業への周知

事業の全体像（フロー図、写真などを用いて事業の様子を視覚的に説明）

・補助金の事務フロー

本補助金については、補助対象者が見本市等に出展後に市に交付申請を行うものです。

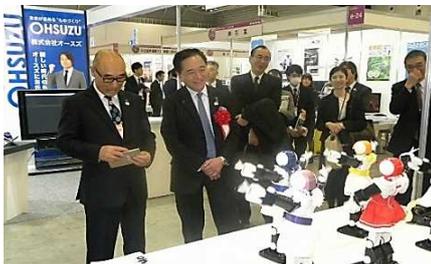
出展者

出展予定表の提出 → 見本市等に出展 → 市へ補助金交付申請（交付の請求書・実績報告を含む）



厚木市

補助金交付申請書受理 → 市税の滞納の有無及び暴排条例に基づく調査 → 補助金交付決定及び交付（振込）



見本市のイメージ

見本市等出展の実績

光学系のA社

OPIE'17 レーザー-EXPO
 2017年4月 パシフィック横浜
 350社 15,000人来場（3日間）
 契約件数 22件
 引合い件数 31件
 ブース立寄り人数 延べ101人
 ・専門性に特化した見本市であり、
 101人のほとんどが研究開発・技術部門の方で、受注も期待できる。

日用雑貨販売のB社

2016 ペット総合展示会
 2016年4月 さいたまスーパーアリーナ
 300社 2,100人来場（2日間）
 契約件数 195件
 引合い件数 360件
 ブース立寄り人数 延べ1,200人
 ・新商品の展示も行い、継続的な売り上げにつながった。

成果指標	指標名	見本市等出展後の契約件数				成果指標の推移グラフ													
	指標の説明	見本市などに出展した後の契約件数(見本市などに出展し、当日引き合いがあったものから契約に至った件数)				<p>見本市等出展後契約件数の目標と実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>100</td> <td>1,013</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>100</td> <td>965</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>1,020</td> <td>299</td> </tr> </tbody> </table>		年度	目標	実績	平成27年度	100	1,013	平成28年度	100	965	平成29年度	1,020	299
	年度	目標	実績																
	平成27年度	100	1,013																
	平成28年度	100	965																
平成29年度	1,020	299																	
	単 位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度														
目標	件	100	100	1,020	1,020														
実績	件	1,013	965	299															
達成率	%	1013.0%	965.0%	29.3%															
指標備考	平成27・28年度の実績を踏まえ、平成29年度に目標値の見直しを行った。																		

事業のコスト

コスト	単位	平成28年度(決算)	平成29年度(決算見込み)	平成30年度(予算)
	事業費	千円	8,548	6,852
人件費	千円	861	862	
経費総額		9,409	7,714	

人件費内訳	平成28年度人件費内訳(単位:千円)				平成29年度人件費内訳(単位:千円)			
		行政職1	@ 8,610 × 0.1人	=	861	行政職1	@ 8,623 × 0.1人	=
	行政職2	@ 8,472 × 人	=	0	行政職2	@ 8,594 × 人	=	0
	消防職	@ 8,719 × 人	=	0	消防職	@ 8,658 × 人	=	0
	再任用	@ 3,716 × 人	=	0	再任用	@ 3,228 × 人	=	0
	臨時職員	@ 1,197 × 人	=	0	臨時職員	@ 1,178 × 人	=	0
	その他	× 人	=	0	その他	× 人	=	0

事業費及び財源内訳(千円)	年度	総額	一般財源	国県支出金	市債	その他
	H28(決算)		8,548	8,548		
H29(決算見込み)		6,852	6,852			
H30(予算)		7,900	7,900			

事業費内訳(千円)	<p>【平成30年予算の内訳】</p> <p>見本市等出展事業補助金(7,900千円)</p> <p>県外 200千円 × 35社 7,000千円</p> <p>県内 150千円 × 6社 900千円</p>
-----------	--

①市民要望 ②社会的要請 ③課題	<p>①本補助金の申請件数は年度によって多少の増減があるものの、「国際食品・飲料展 FOOD EX JAPAN」や「SEMICON JAPAN」、「産業交流展」といった県外の大規模見本市に出展する中小企業者もあり、「来年も継続して出展したい」といった意見をいただいています。</p> <p>②平成30年6月15日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2018」では、重点的な取組として、中堅・中小企業・小規模事業所への支援が位置付けられ、人材確保、生産性向上及び経営に対する支援を強化することとされており、本補助金についても経営支援に資するものと考えます。</p> <p>③事業の効果や補助金の妥当性を検証するためのデータを徴収する必要があります。(例えば、契約件数による売上額の増加など)</p>
------------------------	---

上記課題等への対応や見直しの方向性	<p>今年度は、より多くの市内中小企業に本補助金を活用していただくために当初予算を増額しました。</p> <p>また、当事業の周知方法につきましては、厚木商工会議所の広報紙「さぼーと」においても周知します。</p> <p>このほか、市職員と中小企業診断士による市内中小企業の巡回訪問の際にも、本補助金の活用について直接周知します。</p> <p>今後は、本補助金を活用した事業者の皆様にアンケート調査を実施し、本補助金の改善に向けた検証を進めてまいります。</p>
-------------------	--

直近3か年以内の事業見直しの有無とその内容	<p>見直しの有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有</p> <p>本市の実情や他市町村の傾向を鑑みて、今年度から本補助金の対象となる海外の見本市等の要件を、従来の「日本貿易振興機構が主催又は参加する」から「100以上の出展者がある」見本市等に緩和することで、より活用してもらいやすい内容にしました。</p>
-----------------------	---

近隣自治体等の状況	相模原市、伊勢原市、座間市、寒川町など
-----------	---------------------

【事業番号1】見本市等出展事業補助金(事前確認・回答)

委員等事前確認事項	
1	当初予算額より実績が上回っている年度があるが、予算額は適切か。
2	平成29年度の見本市等出展後の契約件数が平成27・28年度と比較して減少している理由は。
3	市内中小企業の企業数と、ここ数年の推移は。
4	交付申請から補助金が交付されるまでの標準的な所要期間は。
5	市内中小企業が見本市等に出展した証明は、何を根拠にしているのか。
6	補助対象の経費について市内中小企業のニーズは把握しているのか。
7	補助金の審査で基準を満たさず、助成の対象外になったケースはあるのか。

担当課事前回答

各年度の補助実績を考慮して適切に予算を積算しています。なお、不足した場合は予算を流用して、出展時期が遅い方が不利益とならないよう対応しています。

契約件数が突出している企業が、平成29年度についてはなかったためです。

国が行っている統計調査である経済センサスによると、市内の事業所数は、平成28年が9,602、平成26年が9,936、平成24年9,498となっています。

なお、経済センサスでは、市内にある大手企業や大手企業の工場なども含まれており、中小企業に限った数値とはなっていません。

要綱に請求書を受理した日から30日以内と規定しています。

開催のパンフレットや経費の領収書で確認しています。

申請時の事業報告書(出展感想)により把握に努めておりますが、今後、申請者を対象にアンケートを実施してきめ細かなニーズの把握に努めてまいります。

過去に助成の対象外になったケースはありません。

見本市等出展事業補助金

産業振興課

見本市・展示会とは？

- 商品の実物見本を展示・陳列し、紹介・宣伝しながら取引をする臨時市場。
- 見本市は、商品の売買交渉を主な目的とし、展示会は企業イメージの向上や新製品の紹介を主な目的とする点が異なる。



見本市のイメージ

経費について

- (1) 出展料（小間料）

県内 最大 **657,720**円 最低 **30,000**円（平成29年度）
県外 最大 **2,151,360**円 最低 **108,000**円（平成29年度）

- (2) 会場設営費

自社の展示ブースを装飾するための設備・備品の購入費用
（リース費用も含む）

※ 自社で購入し、申請した見本市以外でも使用可となるような
部品・設備については、会場設営費には含みません。

経費について

- (3) 運搬費（搬入・搬出費）

第三者に費用を払い会場まで自社の資料又は設備等を運搬する
ための費用。

※ 自社で運搬した場合の費用（高速代、ガソリン代、電車賃等
の交通費）は含みません。

- (4) 資料作成費

見本市等において、自社製品をアピールするためのカタログ等の
資料作成費。

経費について

- (5) その他

振込手数料及び代引手数料（送料部分は除く）等代金支払いのための手数料については補助対象外です。

国内で開催される見本市等について

- **FOODEX JAPAN 2018**
(第43回 国際食品・飲料展)

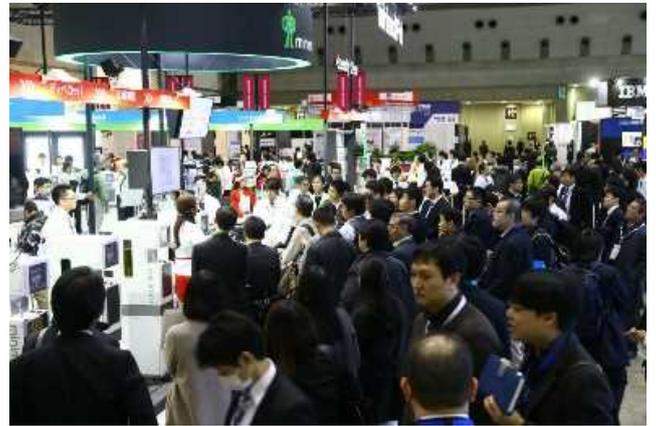
- 会場 幕張メッセ
- 出展社数 3,350社
- 来場者数 72,428人



国内で開催される見本市等について

● SEMICON Japan

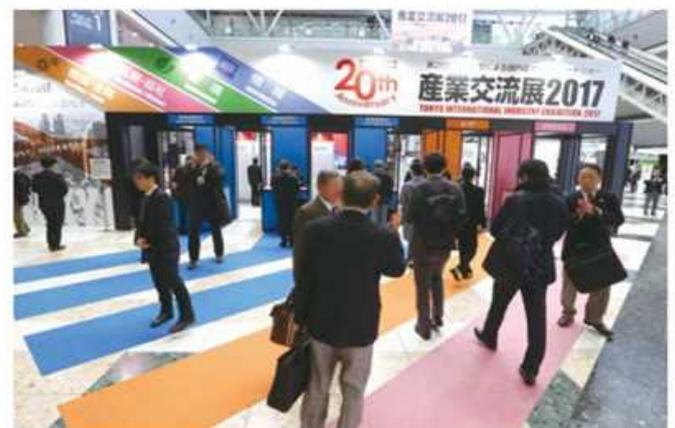
- 会場 東京ビックサイト
- 出展社数 804社
- 来場者数 67,613人



国内で開催される見本市等について

● 産業交流展2017 (TIIE2017)

- 会場 東京ビックサイト
- 出展社数 884社
- 来場者数 59,837人



出展件数の実績

(単位：件) ※ () は割合

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	合計
県内	7 (15.9%)	7 (15.2%)	13 (30.2%)	27 (20.8%)
県外	37 (84.1%)	39 (84.8%)	30 (69.8%)	106 (79.7%)
海外	0	0	0	0
合計	44	46	43	133
決算額 (円)	8,020,000	8,548,000	6,852,000	